

## 石仏見学会「八千代の女人信仰」（高津～大和田・萱田町）

## 〈高津の観音寺女人講石仏群 1＝如意輪観音像塔〉

高津山観音寺の本堂の右手、水子地蔵の右奥の崖のテラス状の場所に、十九夜塔など女人講（現在は「子安講」）が建立した供養塔が 14 基並んでいる。

## ・延宝 2 年（1674）の十九夜塔

八千代市内で 2 番目に古い十九夜塔。舟型光背に六臂の如意輪観音像。

台座に「十九夜講中」正面に「下総国葛飾郡二宮庄 奉造立観音石像依口徳現世安穩及 至後生安樂思往生不可有疑者也 高津村施主敬白」、さらに、この像の丸みがかかった衣の裾と蓮華座に模様のように「おつる・おみや・おまめ」など結願した女人名がびっしり彫られている。男性名はない。



右から延宝 2 年・正徳 3 年・文化 8 年の十九夜塔

## ・正徳 3 年（1713）銘の二臂の如意輪観音像塔

首を傾けて深い思惟を表す。銘文は「奉造立□□□菩薩願成就処 結衆女四十箇」。六臂の延宝 2 年塔に比べて、自然な姿に深い知性と慈愛が感じられ、この作風は、高津梵天塚の大日如来像に通じるものがある。

## ・明和 6 年（1769）如意輪観音像塔

## ・文化 8 年（1811）如意輪観音像塔（「十九夜観世音菩薩 女人講中」）

## ・弘化 2 年（1845）如意輪観音像塔（「如意輪観世音菩薩 女人講中」）

## ・安政 5 年（1858）如意輪観音像塔（「如意輪観世音菩薩 女講中」）

明治以降は石材の質もろくなり、また首が立ち右手が頬をおさえている姿勢で、「女人講」銘とともに、村の世話人屋号、または氏名（男性名）が昭和 25 年まで記されるようになる

## ・明治 6 年（1873）如意輪観音像塔（「子安塔奉造立 観世音 女講中」）



明治 33 年と明治 24 年の子安像塔

## 〈高津観音寺女人講石仏群 2＝子安像塔〉

## ・明治 19 年（1886）子安像塔（「女人講中六十二名」）

## ・明治 24 年（1891）子安像塔（「女人講中」）

## ・明治 33 年（1900）子安像塔（「女人講中」）

## ・昭和 2 年（1927）子安像塔（住職と世話人の男性名のみ）

## ・昭和 25 年（1950）子安像塔（「高津女人講中」）

## ・建立年不明の子安像塔（剥落が著しい。像容から明治末から大正期の建立か）

## ・昭和 57 年（1982）正観音像塔＝寄進者銘は「高津女人講中」。

像容が、如意輪観音から離れ、子供を抱いた「子安観音」像となるのは、高津の場合、近代に入ってからである。

## 〈高津路傍の子安石祠〉

## ・文化 9 年（1812）銘の「子安大明神」石祠

## ・文化 7 年（1810）銘の「妙正大明神」石祠

妙見神社に通じる道の角に石祠と、小さな釈迦像が並んでいて、「こやすさま」と称されている。

「妙正大明神」とは日蓮宗系の疱瘡神で、市川市北方の池にすむ「龍神」が、女人の姿をして日蓮に帰依した奇談として市川市の龍経山妙正寺の宝暦 3 年（1753）の縁起に、記されている。

さらに明暦年間（1655-1688）の疱瘡の大流行の際、車方の村人が妙正大明神を祀り、効能があったことから中山法華経寺領の八千代市北西部を含む村々に広がっていった。

妙正寺は桜の霊場として知られ、桜の樹皮が疱瘡の解熱に効能がある。

また池に住む「龍神」とは、すなわち「姥神」であったという。

なお高津には日蓮宗の寺はない。



〈大和田の円光院の十九夜塔・子安塔群〉

・宝永5年(1708 ↓左)・延享元年(1744 ↓中)・明和9年(1772 ↓右)の如意輪観音像十九夜塔



・昭和32年(1957)子安像陰刻碑(→)



子安像塔6基と、文化15年(1818)如意輪観音像十九夜塔(↑中央)

- ・嘉永元年(1848 ↑左から3番目)
- ・文久元年(1861 ↑左から2番目)
- ・明治18年(1885 ↑右から3番目)
- ・明治36年(1903 ↑右から2番目)
- ・大正8年(1919 ↑右端)
- ・昭和4年(1929 ↑左端)

〈大和田時平神社の子安石祠〉

・安永3年(1774)の「子安神／女講中」銘の石祠

・同年「疱瘡神」銘の石祠

〈萱田町長妙寺の子安鬼子母神像〉

- ・嘉永2年(1849)鬼子母神座像=左手にざくろの実(枝)を持つ子安像塔で、台石に「女人講中」のほか講の女性の名が記されている。
- ・明治16年(1883)
- ・昭和39年(1964) = 「子安鬼子母神」銘の子安像塔。

日蓮宗系では、「子安大明神」の子安像塔のほか、鬼子母神説話に基づく子を抱いた訶梨帝母像を祀るが、石仏の事例は少なく、長妙寺の子安鬼子母神像は珍しい。

鬼子母神像には合掌した鬼型もあるが、子安型の訶梨帝母石像では右手に蓮を持ち如意輪系の子安観音とその像容の区別がつかないものもある。



嘉永2年・昭和39年の子安鬼子母神像



八百屋お七の墓

(蕨由美・記)

種類	所在地	建造年月日	像容	形状	銘文
筆子塚	萱田町 長妙寺	享貞元・6・28	1684	笠付角柱型	南無妙法蓮華經 当寺第五世日宝大德位 施主日玄並手習弟子等欽白
題目塔	萱田町 長妙寺	享保12・11	1727	丸頭型	南無妙法蓮華經 長妙寺 奉唱満超人醍醐真号一千部之功已成欽横越講輩之信男女等口一心丹精唱異口同音一集真文者也 本願主大和町萱田町下市場同行女中 天授山第九世日法(花押)
筆子塚	萱田町 長妙寺	寛延3・12・29	1750	山状角柱型	九世妙眼院日法大德 門弟中造營之
子安塔	萱田町 長妙寺	嘉永2・2	1849	鬼子母神	子安鬼子母神
筆子塚	萱田町 長妙寺	嘉永5・7・27	1852	角柱型	妙法智開院了瑞日照信士靈 俗名與市 吉橋村新藏(他14名) 坪井村庄左エ門(他4名) 麦丸村 か屋田(人名7)
子安塔	萱田町 長妙寺	明治16・11・吉	1883	子安観音	大和田村萱田町女人講中
筆子塚	萱田町 長妙寺	明治16・5・26	1883	角柱型	大乘院常修日圓信士(戒名1) 萱田町 萱田村 筆子中
筆子塚	萱田町 長妙寺	明治20・12・9	1887	丸頭型	妙法事円院信行日怡信士靈 書算門弟中 千葉郡萱田町河野平右エ門二男俗名河野佐太郎(人名55)
水難供養塔	萱田町 長妙寺	大正3・9・17	1914	丸頭型	南無妙法蓮華經 水難口口靈位 神保領千部講社中並長妙寺檀方中建立之
子安塔	萱田町 長妙寺	昭和39・4・吉	1964	鬼子母神	子安鬼子母神 子安講中 世話人中村美知恵 川城ろく(他59名)
猊魂碑	萱田町 長妙寺	年欠		丸頭型	蛇塚
十九夜塔	高津 観音寺	延宝2.2.吉	1674	如意輪観音	如意輪観音 光背型 奉造立観音石像 下総国葛飾郡二宮庄 至後生安善口往生不可有縁口也 高津村施主敬白 十九夜講中(人名多数)
仏像供養塔	高津 観音寺	元禄16・6・吉	1703	地藏(1軀)	光背型 ①奉造立日參供養 六地藏村男女為二世安楽口口 施主直念
仏像供養塔	高津 観音寺	正徳3・10・仏	1713	如意輪観音	光背型 奉造立口 願成就処 結衆女四十箇
仏像供養塔	高津 観音寺	明和6・10・	1769	如意輪観音	光背型
巡拝供養塔	高津 観音寺	文化6・4・吉祥	1809	弘法大師	山状角柱型 ⑨新四国第十番阿波国切幡寺 是より右大和田村円光院へ八丁 施主物旦方中 是より左みやま村神宮寺へ一り 千葉郡高津村 正福寺現住願主 当村(人名3)
十九夜塔	高津 観音寺	文化8・2・吉	1811	如意輪観音	光背型 奉造立十九夜観世音菩薩 高津村 女人講中
戒壇石	高津 観音寺	天保2・11・吉	1831	角柱型	不許輩酒入山門 当寺十九世白豊東傳 十九夜観世音菩薩
仏像供養塔	高津 観音寺	弘化2・11・7	1845	如意輪観音	光背型 ⑩奉造立如意輪観世音菩薩 女人講中
仏像供養塔	高津 観音寺	安政5・3・吉辰	1858	如意輪観音	光背型 ⑩奉造立如意輪観世音菩薩 当山廿世開雲直龍相叟代女講中
子安塔	高津 観音寺	明治6・11・吉	1873	如意輪観音	光背型 子安塔奉造立 観世音 女講中 当山 廿世徳嶋真龍代 高津村 鈴木太良兵衛 岩井新兵衛 合而 女中 五十九人
子安塔	高津 観音寺	明治19.4	1886	如意輪観音	光背型 現観音廿三世中太量代 千葉郡高津村セハ人鈴木多郎兵エ(他1名)女人講中六十二名
筆子塚	高津 観音寺	明治21・2	1888	自然石	田中大量之碑(碑文略)高津村門生(人名4)(人名6)
子安塔	高津 観音寺	明治24・4・吉	1891	子安観音	光背型 ⑩千葉郡大和田村字高津 現観音廿三世口原口心代 セハ人鈴木太兵エ(他1名)女人講中
仏像供養塔	高津 観音寺	明治30・8・	1897	六地藏	丸彫型 六地藏尊 高津村願主江野澤彦右衛門 (他多数) 念仏講女中
子安塔	高津 観音寺	明治33・5	1900	子安観音	光背型 ⑩女人講中 鈴木太郎兵エ 岩井初五郎
子安塔	高津 観音寺	昭和2・11・19	1927	子安観音	光背型 廿四世開博博代 大和田町高津 世話人鈴木太七 石井朝太郎
子安塔	高津 観音寺	昭和25・11・19	1950	子安観音	光背型 高津女人講中
子安塔	高津 観音寺	昭和57・9・吉	1982	聖観音	光背型 高津女人講中
仏像供養塔	高津 観音寺	昭和58・4・吉	1983	観音菩薩	丸彫型 高津観世音菩薩 功德主 高橋喜久須美 高津山観音寺廿五代無方光禪代
子安塔	高津 観音寺	不明		子安観音	光背型 (台石・正福寺現住法印恵休代)
社寺記念碑	高津 観音寺脇	昭和41・4・吉	1966	自然石	高秀霊神社 高津区一同
馬頭観音	高津 観音堂	享和3・4・吉	1803	馬頭観音	光背型 ⑩ 岩井久右エ門
筆子塚	高津 観音堂	文化14・10・1	1817	山状角柱型	口口口口 筆子中 當寺十二世口口口
馬頭観音	高津 観音堂	文久3・6・吉	1863	(馬頭)	駒型 馬頭観世音
仏像供養塔	高津 観音堂	大正6・2・吉	1917	石祠	虚空蔵菩薩
道標	高津 観音堂	年欠		駒型	口口東大和田道 南検見川道
道標	高津 観音堂前	明治口口		丸頭型	東口 南口
灯笼	高津 高津比咩神社	文化9・11・吉	1812	灯笼(1対)	御神燈 別当正福寺信浄代 金百匹当村正福寺(4名) 金百匹 当村観音寺(11名) 発願主三三庵 願主江野沢左五兵エ 鈴木半兵衛(22名)
出羽三山塔	高津 字西 ボンテン塚	昭和35・1	1960	自然石	月山羽黒山湯殿山 参拝記念 先達江野沢明(他多数)(昭和11年・24年・32年参拜)
仏像供養塔	高津 字西 ボンテン塚	年欠		大日如来	丸彫型
社寺記念碑	高津 字西(旧正福寺跡)	年欠		自然石	正福寺之跡 岩井岩雄建之
道祖神	高津 字西(北向道祖神)	元文6・3・吉	1741	石祠	下総国千葉郡高津村願主孫右エ門
仏像供養塔	高津 新田 弁天社	天明4・9・吉	1784	石祠	弁財口女 岩井氏
庚申塔	大和田 円光院	元禄7・10・吉	1694	青面金剛	笠付角柱型 奉造立青面金剛 為二世安楽也 敬白
十九夜塔	大和田 円光院	宝永5・10・	1708	如意輪観音	光背型 奉供養十九夜講中 (人名多数)
十九夜塔	大和田 円光院	延享元・11・吉	1744	如意輪観音	光背型 ⑩拾九夜念仏講 同行二十四人
十九夜塔	大和田 円光院	明和9・10・19	1772	如意輪観音	光背型 ⑩奉造立十九夜観世音 講中 四十四人
十九夜塔	大和田 円光院	文化15・4・吉	1818	如意輪観音	光背型 ⑩十九夜講中 大和田邑 世話人 利助 新之丞
子安塔	大和田 円光院	嘉永元・3・吉	1848	子安観音	光背型 女人講中 世話人 斎藤左八 深山伊三郎 同兵藏
子安塔	大和田 円光院	文久元・10・吉	1861	子安観音	光背型 口郎 口エ門(他多数)
出羽三山塔	大和田 円光院	文久2・11・吉	1862	大日如来	丸彫型 ⑩湯殿山月山羽黒山 世話人大澤小十郎(他25名)
巡拝供養塔	大和田 円光院	明治16・	1883	弘法大師	光背型 新四国口口 阿波地藏寺等第五番地藏山円光院
子安塔	大和田 円光院	明治18・11・吉	1885	子安観音	光背型 ⑩子安観世音 女人講中
馬頭観音	大和田 円光院	明治29・7	1896	(馬頭)	駒型 馬頭観世音 大和田町運送連
子安塔	大和田 円光院	明治36・12・吉	1903	子安観音	光背型 ⑩女人講中
出羽三山塔	大和田 円光院	大正3・2	1914	自然石	月山 湯殿山 羽黒山 社中 世話人大沢莊藏(他30名) 寄附者金巻田御山勝三郎
子安塔	大和田 円光院	大正8・3	1919	子安観音	光背型 ⑩安産講
出羽三山塔	大和田 円光院	大正12・3	1923	自然石	月山羽黒山湯殿山 川城安太郎 二代目茂助 芳藏
子安塔	大和田 円光院	昭和4・11・吉	1929	子安観音	光背型 子安講中 小沢くま 高橋きく 大沢やす 斎藤ふじ(他43名)
子安塔	大和田 円光院	昭和32・4・5	1957	(子安観音)	自然石 子安講 御山みい よし (他49名)
仏像供養塔	大和田 円光院墓地	元文4・10・8	1739	大日如来	光背型 ⑩同行九人
仏像供養塔	大和田 円光院墓地	明和4・10	1767	大日如来	光背型 奉造立講中二十四人
出羽三山塔	大和田 円光院墓地	明治18・11	1885	自然石	月山湯殿山羽黒山 社中 世話人大和田 小澤龜吉(他23)
出羽三山塔	大和田 円光院墓地	明治7・12・吉	1909	自然石	湯殿山月山羽黒山 セハ人 大澤平六 大澤石蔵 御山伊三郎(他23)
馬頭観音	大和田 円光院墓地入口	天明3・4・吉	1783	馬頭観音	光背型 奉造立馬頭観音
庚申塔	大和田 円光院墓地入口	文政元・12・吉	1818	三猿	駒型 庚申 講中
庚申塔	大和田 円光院墓地入口	文政9・11・吉	1836	青面金剛	駒型 ③
庚申塔	大和田 円光院墓地入口	大正4・10・吉	1915	駒型	庚申塔
猊魂碑	大和田 円光院墓地裏	昭和6・9・5	1931	自然石	猊魂之供養碑 花嶋勝次郎建
猊魂碑	大和田 円光院墓地裏	昭和7・10・吉	1932	自然石	牛霊供養碑 有志建之 発起人成田山靈徳鼓吹会々長中島善太郎 千葉県大和田町矢野博也(他3名)
富士講	大和田 円光院裏	明治23・11	1890	自然石	浅間神社 世話人先達御山伊三郎(他17名)
仏像供養塔	大和田 円光院裏墓地	天明6・11・吉	1786	大日如来	光背型 ⑩願主勘治良 (他12名)
馬頭観音	大和田 円光院裏墓地	安政3・11・吉	1856	(馬頭)	駒型 馬頭観世音
子安塔	大和田 時平神社	安永3・4・吉	1774	石祠	①子安神 女講中
痘瘡神	大和田 時平神社	安永3・4・吉	1774	石祠	⑨痘瘡神
道祖神	大和田 時平神社	文久4・2・吉	1864	石祠	道陸神 御山新左エ門
灯笼	大和田 時平神社	大正12・7・吉	1923	灯笼(1対)	御神燈 伊勢参宮記念 先達大澤留吉(他18名) 世話人澤田春吉(他1名) 伊勢参拝団同行
庚申塔	大和田新田 字一本松前	延宝2・4・吉	1674	青面金剛	笠付角柱型 奉造立庚申像当村善男子善女人功德現世安穩乃至來生安楽口口 下総国葛飾郡二宮庄高津村施主敬白
馬頭観音	大和田新田 字一本松前	享和3・1・吉	1803	馬頭観音	光背型 大和田新田 講中

